平成29年度大阪府感染症対策審議会　結核対策部会議事概要

日時：平成29年6月16日（金曜日）14時00分から15時30分

場所：大阪赤十字会館　101会議室（１階）

【議事次第】

挨拶　医療対策課　柴田敏之より挨拶

議題

　（１）大阪府結核対策推進計画の改定について

　（２）その他

【会議の成立】

本会議は、出席者数が「大阪府感染症対策審議会　結核対策部会設置要綱」第４条の、会議開催に必要な定員数に達しており、有効に成立。（委員数11名　出席委員7名　欠席委員４名）

≪議事概要≫

※会議の公開について

　会議は公開とする。※傍聴者の状況：０名

１　議題１　「大阪府結核対策推進計画」の策定経過について報告。

○事務局より説明

・パブリックコメント等のご意見およびその意見に対する府の考え方について報告

・２月９日の諮問から変更点のあった部分を中心に説明。

①「大阪府立公衆衛生研究所」の記載を独立行政法人化、名称変更に伴い「大阪健康安全基盤研究所」へ文言を修正。

②大阪府内に結核病床を持っている医療機関の病床数と稼働病床数の変更。

③あいりん地域における結核事情の改善に向けた取組について、大阪市と意見調整。

○委員より意見等

【委員】各機関で結核の医療体制をもう少し考えていくためにも、医療連携体制の再構築のところで具体的な取組を記載してはどうか。

【事務局】

○部会前案

結核は政策医療として位置づけられていることから、公的医療機関が中心となり民間医療機関と連携し、それぞれの専門性を生かし、大阪府域の結核対策を担ってきており、引き続き、良質かつ適切な医療の提供を行うよう協力を求めます。

○部会後案（下線部を追記）

結核は政策医療として位置づけていることから、公的医療機関と民間医療機関が連携し、それぞれの専門性を生かし、医療機関相互の連携体制を密となるように働きかけます。また地域の診療体制強化のために政令・中核市と連携、協力し、あらゆる結核の診療体制も維持できるよう引き続き、良質かつ適切な医療の提供を行うよう努めます。

【出席委員】修正の文言については事務局が部会長と調整することで了承。

２　議題２　「その他（大阪府の結核病床の現状について）」

○事務局より説明

　・大阪府の結核病床の現状、刀根山病院の病床廃止の意向およびそれに伴う骨関節結核の診療体制について報告

　・刀根山病院は、骨結核に対しては診療体制として診ていきたいという思いである。他院において骨結核など、例えば手術などが必要になったときには、刀根山病院としてもサポートはしていきたいという思いは持っておられる。

○委員より意見等

・十三市民病院は結核病院として設立されたものではなかったが、整形外科と結核病床が両方併設されているために、骨関節結核の患者さんを受け入れることに可能と聞いている。

・堺市では骨関節結核の患者については、刀根山病院に行かれているので、この病床が廃止されるということは不安、心配である。

・脊椎カリエスを手術してくれるところをどこかにつくっていただかなければ困る。今、国全体の独法が赤字になりかかっていると、ものすごく厳しく言われている。（結核医療が経営的に）非常に厳しい状況であることが理解できます。

・菌が排菌していない患者は、整形外科の先生は今後も診療を続けていただけると聞いている。

・他の都道府県を鑑みますと、１都道府県に一つしかないような都道府県はたくさん出てきていまして、大阪の交通の利便性を考えますと、大阪はまだある意味恵まれた地域なのかというところはあろうかと思うが、われわれ臨床側としても少し心配している。

・まず、特別な治療、骨結核、非常にここが中心に刀根山病院にやっていただいていることを考えれば、府民全体の健康を守るという点からいけば、やはりきちんとした治療を行える病院がなくなってしまう。

もちろんそのようにしなければならないこともありますが、やはりこれだけきちんとやっていただけるところがなくなるということは、大変府民にとっては損失だと思う。

　・もし刀根山病院がなくなってしまうと、半分ぐらいが民間の病院になる。結核のような医療は公的な部分でしっかり支えていただかなければかなり大変だと思います。保健医療計画と病床に関しても少し考えたいと思います。

　・医療連携体制の再構築のところ、やはり再度ここに骨結核などの専門性治療に支障をきさないようにという文言を入れておいていただきたい。

・結核の発生に関してですが、やはり大阪は根本的に日本で一番結核の人が多い。だからほかのところよりも手厚く一生懸命頑張っても当然のこと。基準病床だからオッケーということは決してそれは言えない。北摂の要である刀根山が結核の治療から手を離すということは、府民にとっては非常にリスクが高いと思います。

・大阪病院にも整形外科がある。骨と関節は今までもいくつか扱っている。ところが脊椎になりますとほとんど経験がないので、そのようなスタッフなり研修なり、そのようなことがなければ今の態勢では無理ですと聞いている。

*・*結核患者は、急性期の病院で受け入れてもらえない状況があり、それはやはり改善するのが病床の計画であり、保健医療計画である。

大阪府としては公立病院に対しては、何らかのアプローチをしっかり仕掛けていかないことにはいけない。